

## 11 月 18 日：VN 指数は回復基調続かず (VN-Index -0.12%)

- 本日の VN 指数は小幅高で寄り付いたものの、米国株式市場の下落基調の後を追ってすぐに下落圏に落ち込んだ。
- 弱気なセンチメントが市場全体に広がり、特に小売、銀行セクターが軟調に推移して相場を引き下げた。
- しかし、VAT の 2%減税措置延長の提案や米国がベトナムを通過非操作国としたことなどのニュースが再び好感され始めたことで、後場には一転して大幅に値を回復した。
- 金融セクターがこの上昇に大きく寄与した。指数は回復を見せたものの、引け間際に調整を見せて小幅に下落して終了した。
- 184 銘柄が上昇、181 銘柄が下落、70 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は 16.7%下落し、15.5 兆ドンとなった。

### VN30 指数はほぼ横ばい (VN-30 -0.08%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、12 銘柄が上昇し、14 銘柄が下落。4 銘柄が変わらずとなった。
- SSI (+1.46%)、TPB (+2.56%)、VHM (+1.37%)が特に上昇した。
- 下落銘柄は BCM (-1.47%)、BVH (-1.35%)、MWG (-1.67%)、PLX (-1.82%)、VJC (-1.55%)など他業種にわたった。

### セクター・個別株の動き

- 車の購入時登録料の 50%減額措置によって車両販売台数が大幅に増加したことから、HAX (+1.95%)、SVC (+2.11%)が上昇した。
- Greenhill Village Quy Nhon プロジェクトにおけるおよそ 2 兆ドン相当の資材供給契約を締結したことから、MST (+7.55%)は大幅に上昇した。
- 外国人投資家は 1 兆 4,570 億ドンを売り越した。買い越しは銘柄ごとに分散した一方で、売り越しは SSI (+1.46%)、VHM (+1.37%)に集中した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。